

=====

< 第 2 章 >

=====

評価テスト(選択式・記述式・論述式問題)

=====

本調査研究においては、次の能力を測定対象とした評価テストを実施した。

		選択	記述	論述
論理的思考力・ 批判的思考力	①情報の解釈・分析・評価	●		
	②論理的な表現力		●	●
問題発見・解決力	③問題発見	●	●	
	④問題解決	●	●	
人間関係形成力の もととなる認識	⑤他者理解	●	●	
	⑥多様な他者との協働的問題解決	●	●	
	⑦対人関係におけるコントロール方略	●	●	
社会参画力の もととなる認識	⑧地球規模の視野と社会への参画意識			●

実施初年度は文系的问题（読解など）を中心に出題したため、国語の学力との相関が比較的高く、読解力に左右されることが、分析結果や研究校の要望から課題となった。これらの課題を受け、2年目以降は、非言語テキストや数理系（数学リテラシーなど）の力を問う問題も出題した。本章では、上記測定対象とした能力・出題形式別に、代表的な出題例及び評価基準を示す。

なお、これらの問題は、北川達夫氏（言語系監修・日本教育大学院大学）、清水美憲氏（数理系監修・筑波大学人間系教育学域）の監修の下、開発した。

1. 評価テスト出題例

問題例 1 選択式 論理的思考力・批判的思考力 / ①情報の解釈・分析・評価

【資料1】・【資料2】を読み、(1)・(2)の問いに答えなさい。

【資料1】

夏の蒸し暑さを表すものに、不快指数があります。

これは気温と湿度によって表される数値で、不快に感じる度合いです。一般に、不快指数が80を超えると半数以上の人が不快に感じると言われています。

図1は、気温20℃以上で、湿度10%ごとに不快指数を表したグラフです。

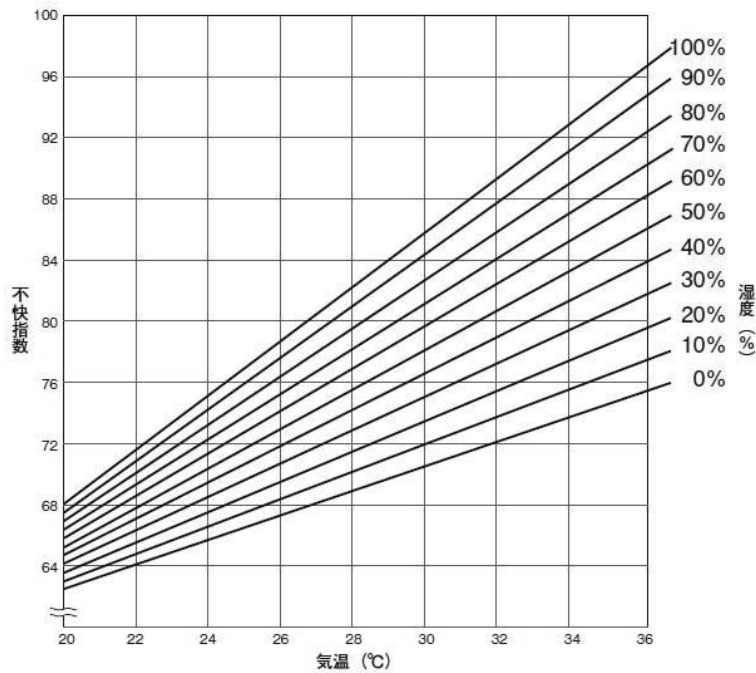


図1. 湿度ごとに見た気温と不快指数の関係

(1) 気温が30℃のとき、不快指数が80を初めて超すのは、湿度がどのくらいのときですか。次の1～5の中から1つ選びなさい。

1. 40%以上 50%未満
2. 50%以上 60%未満
3. 60%以上 70%未満
4. 70%以上 80%未満
5. 80%以上 90%未満

【資料 2】

図 2 は、不快指数がそれぞれ 70、75、80 のときの気温と湿度の関係を表したグラフです。

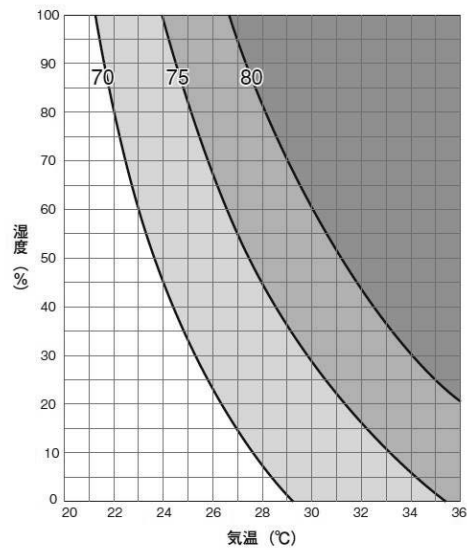


図 2. 不快指数が 70、75、80 のときの気温と湿度の関係

図 3 は、地域 A の 8 月 24 日の気温と湿度を、時刻ごとに表したグラフです。図 2 と図 3 を合わせて考えると、多くの人がどのくらい不快に感じたかを読み取ることができます。

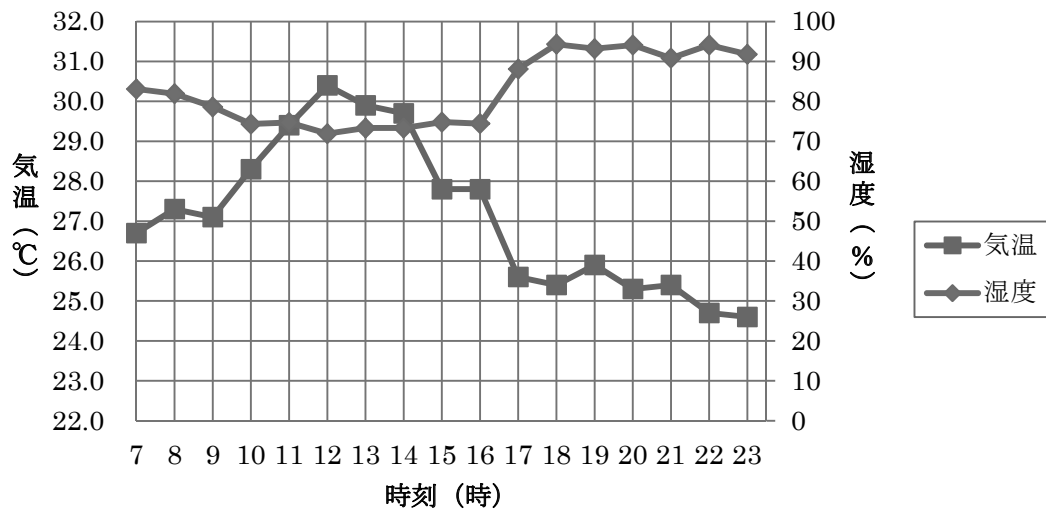


図 3. 地域 A の気温と湿度 (8 月 24 日)

(2) 地域 A において、8 月 24 日に不快指数が 80 を超えたのは何時間か、次の 1～5 の中から 1 つ選びなさい。

1. 1 時間未満
2. 1 時間以上 3 時間未満
3. 3 時間以上 5 時間未満
4. 5 時間以上 7 時間未満
5. 7 時間以上

【出題意図】

図やグラフなどの資料から、必要な情報を読み取ることができるかどうかを確認する問題。(1)のように単一のグラフを読み取る問題と、(2)のように複数のグラフを合わせて読み解く形式の問題とを出すことで、読み取る力の段階も合わせて確認できる出題形式とした。特に、(2)のように複数の資料を合わせて読み解いたり比較したりする力は、社会に出ても必要とされる力の一つであり、この設問の解答状況はしっかり確認したいところである。

【問題類型】

- (1) 資料の読み取り
- (2) 資料の読み取り

【正解】

- (1) 3
- (2) 3

次の【文章】から導き出した【結論】A～Dについて、(1) 真・(2) 偽・(3) 情報不足のいずれかを選びなさい。

- (1) 真：文章の内容から、確実に正しいと言える事柄
- (2) 偽：文章の内容から、確実に誤りと言える事柄
- (3) 情報不足：文章の内容だけでは、正しいかどうか判断し切れない事柄

【文章】

高校2年生でバスケットボール部に所属するユウの身長は160センチ。バスケットボール選手の中では決して身長は高い方ではないが、それでも幼なじみのケイよりも3センチは高い。毎日、ユウは練習が終わると、駐輪場でケイが来るのを15分ほど待つことになる。ケイが部長を務める英語クラブの方が、活動が終わるのが遅いからだ。ユウはケイに、英語の授業でわからなかったことを教えてもらいながら帰ることが多い。「帰国子女は英語が得意になるからうらやましい」と思うこともあるが、たった1年の海外生活で英語が上手になったのだから、それはやはりケイの努力の結果なのだろうと、ユウは考えるようにしている。

【結論】

- (A) ケイはアメリカで暮らした経験がある。
- (B) ユウは男子バスケットボール部に所属している。
- (C) ケイはユウよりも身長が高い。
- (D) ユウが所属するバスケットボール部の練習が終わった時点で、英語クラブはまだ活動中だ。

【出題意図】

さまざまな情報を関連付けて妥当な結論を引き出したり、自分の主張や他者の主張に含まれる意図を検証したうえで、説得力のある主張をする力を持っているかなど、社会に出てからも大いに必要とされる力があるかどうかを確認するための問題として設定した。文章の内容から導き出されることの真偽を正しく判断できるかどうかという形式で、その力の有無を問うている。

【問題類型】

結論の評価

【正解】

- (A) 3 情報不足
- (B) 3 情報不足
- (C) 2 偽
- (D) 1 真

次のそれぞれの【主張】を裏づける理由として、最も適切なものを1～5の中からそれぞれ1つずつ選びなさい。

【主張1】 ペットボトルはリサイクルをしないで燃やすべきである。

1. ペットボトルをリサイクルすれば、街中のごみが減る。
2. ペットボトルは可燃ごみとして焼却処理した方が、リサイクルするよりよい。
3. ペットボトルはリサイクルするよりも、リユースをした方が環境によい。
4. ペットボトルをリサイクルするには、焼却処理するよりもエネルギーとコストがかかる。
5. ペットボトルをリサイクルに出しても、結局はごみと一緒に処理されている。

【主張2】 救急車は有料にするべきである。

1. 経済的に困窮している人も、救急車を呼びやすくなるだろう。
2. 自己負担となれば、救急車を安易に呼ぶ人は少なくなるだろう。
3. さらに回数券を導入すれば、救急車の利用者にとって便利だろう。
4. 海外では救急車が有料である国もある。
5. 有料にする場合は、国民的な議論と合意が欠かせない。

【出題意図】

ある主張がなされる場合、その主張には背景・理由となる考え方が存在するはずである。その背景・理由を正しく見抜くことができるかどうかは、他者との適切なコミュニケーションの前提となるものの一つでもある。本問題では、主張（意見）を裏づける適切な理由を論理的に考察し、選択できるかどうかという形式でその力の有無を問うた。この力は、妥当な理由をともなつた説得力ある意見を述べたり、他者の意見の妥当性を評価したりできる力として活用できる力でもある。

【問題類型】

適切な理由付け

【正解】

（主張 1） 4

（主張 2） 2

次のそれぞれの【主張】の背景にある考え（表には出ていないが主張を支えている考え）として、最も適切なものを1～5の中から1つずつ選びなさい。

【主張】このチームで夏の大会を勝ち抜くには、個人プレイよりもチームプレイの練習に時間をかけるべきだ。

1. 夏の大会は強豪校との激戦が予想される。
2. 春に比べ、夏はいつもチームの成績が振るわない。
3. 個人プレイの指導を担当するコーチの教え方があまり上手ではない。
4. チームプレイを大切にするのはアマチュア競技ならば当然である。
5. チームプレイのミスが敗因になっていることが多い。

【出題意図】

他者と建設的に議論をするためのベースとなる力として、自分や他者が無意識のうちに前提としていることを意識したり検証したりすることができるかどうかを確認する問題。主張（意見）の背景にある、明示されていない前提をくみ取ることができるかどうかを問う形式で出題した。

【問題類型】

仮定を問う

【正解】

5

次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

木村さん一家は4人家族で、全員が携帯電話を1台ずつ持っています。現在の契約は、使用内容にかかわらず、1か月につき1台5000円です。携帯電話にかかる出費を抑えたいと考えた父は、新しい料金プランへの移行を検討しています。そのプランはメールやインターネットの利用は無料で、通話料金は1か月30時間以内であれば3000円と格安ですが、30時間を越えると10分あたり100円がかかってしまいます。ただし、未成年者は何時間通話しても4000円で固定です。

問い 料金プランの移行によって、携帯電話にかかる出費は本当に抑えられるのかどうかを調べるためには、すでわかっていることに加えて、さらにどのような情報が必要ですか？ 次の1～6のうち、必要な情報をすべて選びなさい。

1. 木村さん一家が最も携帯電話を使用する時間帯
2. 木村さん一家の年齢構成
3. 木村さん一家の各人の最も多く通話する相手先
4. 木村さん一家の男女構成
5. 木村さん一家の各人の月々の通話時間
6. メールと通話、どちらをよく利用するか

【出題意図】

問題解決のためには、点在する情報を整理・統合し、必要な情報としてまとめていく力も必要になる。また、話し合いの場などにおいても、問題解決のために必要な情報を特定したり検証したりする力が求められる。そういった力の有無を確認するための問題として、個々の問題解決のために必要な情報を特定することができるかを問う形式で出題した。

【問題類型】

必要な情報の把握

【正解】

2, 5

次の【資料1】～【資料3】を読み、(1)～(4)の問いに答えなさい。

【資料1】

コンビニエンスストア（コンビニ）を経営する伊藤さんは、食品の廃棄を少なくする取り組みについて考えています。

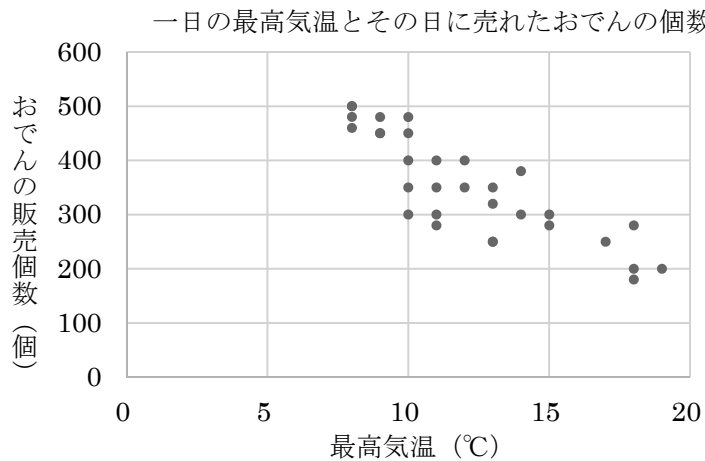


おでんの売れ残りがもっと少なくならないかな。売れるおでんの個数が予測できればいいのに。



そうだ。一日の最高気温と、その日に売れたおでんの個数に何か関係がないかな。

次の図は、一日の最高気温と、その日に売れたおでんの個数との関係を調べた結果を示しています。



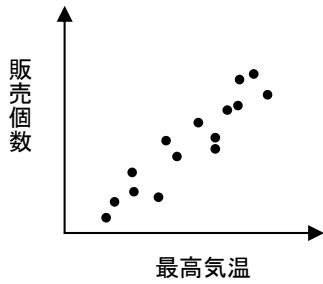
図を見ると、最高気温が高いほど、おでんの販売個数が少なくなることがわかります。この場合、2つの数量のうち一方が増加するとき、もう一方が減少する傾向にあるので「負の相関がある」と言います。逆に一方が増加するとき、もう一方も増加する傾向にある場合には「正の相関がある」と言います。

(1) 上記の得られた情報から、伊藤さんの判断として最も適切であると考えられるものを、次の1～5の中から1つ選びなさい。

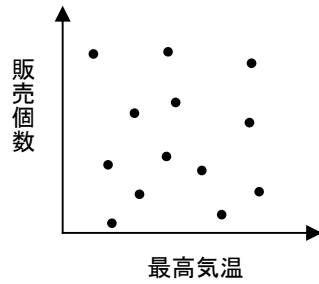
1. 最高気温が高くなるという予報のときほど、おでんを多く準備する。
2. 最高気温が低くなるという予報のときほど、おでんを多く準備する。
3. 最高気温が10°Cのとき、最高気温が8°Cのときよりおでんを多く準備する。
4. 最高気温が16°Cのとき、おでんは売れないので、準備する必要はない。
5. 最高気温にかかわらず、常に500個はおでんを準備しておく必要がある。

(2) 伊藤さんは、他の商品についても調べてみました。一日の最高気温と、その日のサンドイッチの販売個数との関係を調べてみると、相関がほとんどないことがわかりました。一日の最高気温とその日のサンドイッチの販売個数を表す図として、適切なものを次の1～5の中から1つ選びなさい。

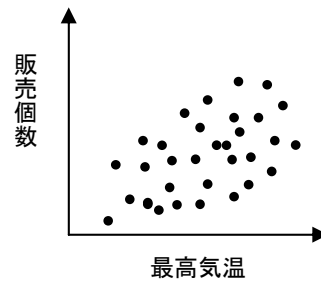
1



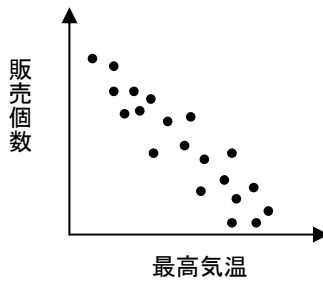
2



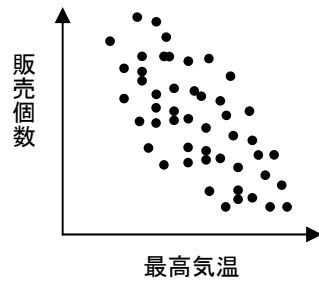
3



4



5



【資料2】

伊藤さんは、商品の販売個数を増やす取り組みについて考えています。

お客さんはどんな商品と一緒に買っているのかな。
それがわかれば、キャンペーン中の商品と関連がある商品をレジの横に置いたり、関連がある商品どうしを近くに置いたりして、販売個数が増やせそうなんだけどなあ。



次の表は、商品が同時に購入されたかどうかの相関の強さを数値で表したものです。この数値は-1以上1以下の値をとり、正の相関が強いほど1に近づき、負の相関が強いほど-1に近づきます。

	チョコレート	ポテトチップス	あめ	ガム	アイスクリーム	新聞	栄養ドリンク
チョコレート		0.8	0.2	-0.1	0.4	0.1	0.1
ポテトチップス	0.8		0.1	0.1	0.3	0.1	0.1
あめ	0.2	0.1		0.3	0.5	0.2	0.4
ガム	-0.1	0.1	0.3		0.7	0.1	0.5
アイスクリーム	0.4	0.3	0.5	0.7		0.2	-0.7
新聞	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2		0.8
栄養ドリンク	0.1	0.1	0.4	0.5	-0.7	0.8	

(3) アイスcreamのキャンペーン中に、レジの横に置く商品は何がよいと思いますか。最も適切な商品を次の1～6の中から1つ選びなさい。

1. チョコレート
2. ポテトチップス
3. あめ
4. ガム
5. 新聞
6. 栄養ドリンク

【資料3】

伊藤さんは、一日におけるトイレの利用者数とおでんの販売個数について調べたところ、強い相関があることがわかりました。この結果から、伊藤さんは、「トイレを利用すると、おでんを買いたくなる」と判断しました。そこで、さらにおでんの売上を伸ばすために、トイレにおでんの広告を貼ることにしました。



(4) 【資料3】の下線部の伊藤さんの判断について、最も適切なものを次の1～5の中から1つ選びなさい。

1. トイレの利用者が多い日は単にコンビニの利用者が多く、おでんの販売個数が多かっただけかもしれないので、正しくない。
2. トイレの利用者数とおでんの販売個数には強い相関があり、トイレを利用するとおでんを買いたくなると言えるので、正しい。
3. トイレの利用者数と他の商品の販売個数について調べていないので、正しくない。
4. トイレを利用していない人のおでんの販売個数について調べていないので、正しくない。
5. トイレを利用すると体温が下がるため、温かい食べ物が欲しくなるので、正しい。

【出題意図】

図やグラフなどの資料から、必要な情報を読み取った上で、問題の特定と解決のためにその意味内容を解釈・評価し、妥当な解決策を選択することができるかどうかを確認するための問題。(1)～(3)で、グラフや図表から読み取れる情報を、条件に合わせて評価・解釈し判断する形式の出題を行い、(4)では、情報の解釈の誤りを見抜く内容の出題とすることで、全体として問題解決の力を試す出題とした。

【問題類型】

- (1) データをもとにした問題解決
- (2) データをもとにした問題解決
- (3) データをもとにした問題解決
- (4) データをもとにした問題解決 (偽相関の把握)

【正解】

- (1) 2
- (2) 2
- (3) 4
- (4) 1

問題例7 選択式 人間関係形成力のもととなる認識 / ⑤他者理解
⑥多様な他者との協働的問題解決 ⑦対人関係におけるコントロール方略

次の文章と会話文を読み、(1)～(7)の問いに答えなさい。

大学生の田中君は、マクロイン共和国からの留学生サガン君とルームシェア（ひとつの部屋を他人同士が共同で借りることを）をしています。ルームシェアを始めてまもなく、田中君は困ってしまいました。田中君が共用の冷蔵庫に入れておいた飲み物を、サガン君がときどき無断で飲んでしまうからです。困った田中君は、大家さんに相談しました。すると、大家さんは、「まだサガン君は日本のやりかたを知らないのよ。怒らないであげて。私から言っておくから」と言いました。それからしばらくして、部屋に帰ってきたサガン君が、いきなり田中君に詰め寄りました。

サガン「言いたいことがあるなら、僕に直接言えよ。何を考えているんだ」

田中「ごめん。どうしたの？ いったい、何を怒っているの？」

サガン「きみはひきょう者だ。陰で僕のことを悪者扱いするなんて、ひきょうだ」

田中「ひきょう？ そんなことを言うなら言わせてもらうけれど、もともと、きみが悪いんじゃないか。普通、他人の物を勝手に飲んだりしないだろう？」

サガン「普通？ 普通って、何が普通なんだよ。僕も飲み物を入れていたけれど、きみが飲んでもいいと思っていたんだ」

田中「そんなこと言っていなかったじゃないか」

サガン「きみだって、何も言っていなかったじゃないか。それに、ルームシェアを始めたとき、大家さんだってきみだって『これからはみんな家族だ』と言っただろう。家族なのに、『他人の物』というのは、おかしいじゃないか。そこのところをはっきりさせないまま、一方的に非難するのは、ひきょう者のすることだよ」

田中「僕のことをひきょう者呼ばわりするのは、許せない。謝れよ」

サガン「悪いことをしたわけじゃないのに、なんで謝らないといけないんだ？ そんなの、おかしいよ」

(1) 田中君とサガン君は、解決しようとしている問題を共有していますか。共有しているとしたら、それはどのような問題ですか。次の1～5の中から1つ選びなさい。

1. 問題を共有している。冷蔵庫の飲み物を勝手に飲むこと。
2. 問題を共有している。二人の間のことに第三者を介入させたこと。
3. 問題を共有している。みんな家族のようにふるまえないこと。
4. 問題を共有している。誰も謝ろうとしないこと。
5. 問題を共有していない。

(2) 田中君の相談を受けた大家さんは、サガン君にどのようなことを言ったと考えられますか。次の1～5の中から1つ選びなさい。

1. これからはみんな家族だからね。仲良くしましょう。
2. 日本での生活には慣れた？ 何か困っていることはない？ いつでも相談してね。
3. そういえば、冷蔵庫の使い方を、まだ説明していなかったね。自分の食べ物や飲み物には、名前を書いておくこと。他人の名前が書かれた物には、触れないこと。
4. 日本では、他人の物を無断で食べたり飲んだりするのは、よくないことなのよ。親しき仲にも礼儀あり。覚えておいてね。
5. 田中君と一緒に住んでみて、どう？ 日本人と住むのも大変でしょう。いやなことがあれば、田中君に言ってあげるから、気軽に相談してね。

(3) この問題がなかなか解決しないのは、なぜですか。その理由を次の1～5の中から1つ選びなさい。

1. 田中君は正しいことを言っているのに、サガン君が間違っただけを言っているから。
2. サガン君は正しいことを言っているのに、田中君が間違っただけを言っているから。
3. 田中君は両者に共通する問題を見いだそうとしているのに、サガン君は自分の問題ばかりに固執しているから。
4. サガン君は両者に共通する問題を見いだそうとしているのに、田中君は自分の問題ばかりに固執しているから。
5. 大家さんが問題解決の邪魔をするから。

(4) 下線部のサガン君の発言から、どのような解決の方向性を読み取ることができますか。適切なものを次の1～5の中から1つ選びなさい。

1. 互いに言いたいことを言い合う。
2. 互いに謝る。
3. 一緒に共同生活のルールを決める。
4. ルームシェアをやめる。
5. 何もしない。

(5) このようなトラブルが起こったとき、そして特に相手が怒っているときは、次の(ア)～(ウ)の3つの要素を満たすような対応をとるべきだとされています。

- (ア) 相手の怒りをおさめるような手だてをとる。
- (イ) 相手から事情を聞く。
- (ウ) 自分からトラブルの解決策を提案する。

ここで田中君がとった対応は、どの要素を満たしていますか。次の1～5の中から1つ選びなさい。

1. (ア) (イ) (ウ) すべてを満たしている。
2. (ア) (イ) は満たしているが、(ウ) は満たしていない。
3. (ア) は満たしているが、(イ) (ウ) は満たしていない。
4. (イ) は満たしているが、(ア) (ウ) は満たしていない。
5. どの要素も満たしていない。

(6) 当初、田中君は問題を解決するにあたって、大家さんに相談する、つまり「まず自分の考えを第三者を通して伝える」という手段をとりました。では、あなたの友だちが田中君と同じ立場に立たされたとき、どのような対応をとる人がいちばん多いと思いますか。次の1～5の中から1つ選びなさい。

1. まず自分の考えを第三者を通して伝える。
2. まず自分の考えを直接相手に伝える。
3. まず相手の考えを聞く。
4. まず相手を非難する。
5. とりあえず何もせずに、しばらく様子を見る。

(7) あなたの友だちがサガン君と田中君の会話を読んだとき、どのように考える人がいちばん多いと思いますか。次の1～5の中から1つ選びなさい。

1. ここは日本なのだから、サガン君は日本人のやりかたを取り入れるべきだ。
2. サガン君の言っていることの方が筋が通っているから、田中君はサガン君のやりかたを取り入れるべきだ。
3. 国によって考えかたが違うのだから、田中君も、サガン君も、自分の考えを相手にわかるように説明すべきだ。
4. 国によって考えかたが違うのだから、田中君とサガン君は、解決策を一緒に考えるべきだ。
5. ここが日本であろうとなかろうと、サガン君のしたことは受け入れられないことだ。

【出題意図】

コミュニケーション力は、今後のグローバル社会においては欠かせない力であり、具体的には他者を理解する力や、他者と理性的・協調的にコミュニケーションする力などが求められる。ここでは、話し合いなどの場で、他者の思いや考えを考慮したうえで、論理的な思考に基づいて解決策の妥当性を評価したり、複数の解決策を統合したりする力があるかどうかを確認するための問題として、人物の行動や発言から、その背景にある考えや感情を推測することができるかを問うたり、複数の主張を踏まえ、相互に最適な解決策を見出すことができるかを問う出題形式とした。

【問題類型】

- (1) 他者理解／登場人物の思考を推測する
- (2) 多様な他者との協働的問題解決／問題の原因を推測する
- (3) 多様な他者との協働的問題解決／問題の原因を推測する
- (4) 他者理解／登場人物の思考を推測する
- (5) 対人関係におけるコントロール方略／他者への対応
- (6) 対人関係におけるコントロール方略／他者の思考を推測する
- (7) 対人関係におけるコントロール方略／他者の思考を推測する

【正解】

- (1) 5
- (2) 4
- (3) 4
- (4) 3
- (5) 2
- (6) 2
- (7) 4

問題例 8 記述式 論理的思考力・批判的思考力 / ②論理的な表現力

次の文章に、どこか論理的におかしいところはありませんか。ある、またはないに○をつけ、ある場合は、おかしいのはなぜか、その理由を説明しなさい。

二酸化炭素の排出によって、地球の平均気温は上昇する。

地球の平均気温は上昇している。

だから、二酸化炭素の排出量は増えている。

【出題意図】

説得力のある主張や建設的な議論のために、論証の構造を意識しながら意見を構築する力があるかどうかを確認するための問題。正しい論理を構築する力があるかどうかを確認するため、論理の誤りを見抜く形での出題形式とした。

【問題類型】

三角ロジック

【評価基準】論理的・批判的思考力／表現

○	<ul style="list-style-type: none"> ・「ある」を選択している ・二酸化炭素の排出が地球の平均気温を上昇させるとしても、地球の平均気温の上昇の原因が二酸化炭素の排出とは限らないということを説明できている <p>※原因と結果、気温と二酸化炭素を関連付けて説明できていないものは× ※三段論法が成立していない、など、一般論としてのみでは説明不足で×</p>
×	<ul style="list-style-type: none"> ・上記のいずれかを満たしていない
解答例	<ul style="list-style-type: none"> ・平均気温が上昇していても、二酸化炭素が増加しているとは言い切れないから ・気温の上昇する理由は二酸化炭素の排出量増加だけではないはずだから ・その他にも気温上昇の理由はあるから
不可例	<ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素の排出が増加しても地球の平均気温は上昇しないから <p>※二酸化炭素の増加→平均気温の上昇という前提を覆すものは×</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そうとは言い切れないから <p>※どこがどうおかしいのかを説明できていないものは×</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素が増加しているとは言い切れないから <p>※気温と関連付けて説明できていないので説明不足で×</p>

次の文章を読み、問いに答えなさい。

佐藤君の元気がありません。聞いてみると、「どうも腹に力が入らないんだ」と言います。「なぜ腹に力が入らないの？」と聞くと、「お腹が空いてたまらないんだ」と言います。「なぜお腹が空いているの？」と聞くと、「朝ごはんを食べていないんだ」と言います。こうやって「なぜ」と繰り返し聞いていくと、次のようになりました。

佐藤君の現状「お腹に力が入らない」

なぜ？① 「お腹が空いているから」

なぜ？② 「朝ごはんを食べていないから」

なぜ？③ 「寝坊したから」

なぜ？④ 「昨日、夜ふかししたから」

なぜ？⑤ 「ゲームに夢中になり、気が付いたら夜中だったから」

こうやって「なぜ？」を繰り返し聞いていくことにより、いま「困っていること」（問題）の根本的な原因が明らかになることがあります。

問い 次の話題A～Dの中から1つを選び、あるいは自分で話題を考えて、上の文章のように「なぜ？」を5回繰り返し聞くことで、問題の根本的な原因を明らかにするモデルを完成させなさい。

話題A 友達関係

話題B 部活動の人間関係

話題C ちょっとした失敗

話題D 将来への不安

【出題意図】

効率的・効果的に問題を解決するためには、最も解決すべき問題は何かを発見・把握することが重要である。根本的な問題を発見するための一つの手法として「なぜ」を繰り返す形式を体感させ、問題発見の力を養うものとして出題した。

【問題類型】

根本的な問題の発見

【評価基準】問題発見・解決力／問題解決

○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5つ解答しており、かぶりが無い ・ 順に、一般的な因果関係が認められる／真因への追及になっている ・ 全体としてつながる流れになっている／途中で他の因果関係に話が変わっていない ・ 例題のコピーをしていない（5段階中3つかぶっているものは×とする。2つは許容）
×	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記のいずれかを満たしていない
解答例	<p>話題D 将来への不安 現状「将来が不安で仕方ない」 なぜ①「就職できるかわからないから」 なぜ②「目標としている大学にいけるかわからないから」 なぜ③「成績が目標に達していないから」 なぜ④「勉強はしているが、だらだらと時間を過ごしているから」 なぜ⑤「自分の勉強の要領が悪いから」</p> <p>話題A 友達関係 現状「友達と最近話していない」 なぜ①「最近関係がギクシャクしているから」 なぜ②「先週ケンカしたから」 なぜ③「ひどいことを言われたから」 なぜ④「何でも言い合えるから」 なぜ⑤「仲がいいから」</p>
不可例	<p>【因果関係が認められない／逆／ループしてしまう例】 話題D 将来への不安 現状「将来が不安」 なぜ①「希望の職に就きたいがつけるかわからないから」 なぜ②「今その夢のために努力しているから」 なぜ③「将来やってみたい仕事があるから」 ※なぜ②の理由として①ならよいが、①の理由として②が成り立っていない／因果が逆／ループしてしまっているため不可</p> <p>【全体としてつながっていない例】 話題D 将来への不安 現状「将来が不安」 なぜ①「今の成績ではよい大学にいけないから」 なぜ②「勉強のやり方がいまいちわからないから」 なぜ③「自分の中でまだベストを尽くせていないから」 なぜ④「勉強しても伸びないのが少し怖いから」 なぜ⑤「成績が悪いと、みんなからの目が気になるから」 ※なぜ②→③→④→⑤が繋がっておらず、違う話の因果関係になっているため不可</p>

次の問いに答えなさい。



問い 上のイラストは楽器を演奏する人たちです。それ以外の情報はありません。

次の【条件】に従って、2つ、3つ、4つのグループに分ける基準を考えなさい。

【条件】

この10名をグループに分けたとき、グループによっては結果的に構成員が0名になる可能性があっても構いません。ただし、以下に示した例のように、「出身惑星を基準として、地球人・火星・金星人を具体的な分け方とする」といった非現実的な基準は解答として認められません。また、正解例として示した「『姿勢』を基準とする分け方」以外の基準を考えてください。

例

正誤	いくつに分けるか	基準	具体的な分け方
×	3つ	出身惑星	地球人・火星・金星人
○	2つ	姿勢	立っている・座っている

【出題意図】

問題解決の手段を検討するためには、物事がある基準・考え方に基づいて明確に分類する作業が重要であり、その分類においては「漏れもダブリもない」状態に分類することがポイントとなる。その力があるかどうかを試すものとして出題した。

【問題類型】

分類の発想

【評価基準】問題発見・解決力／問題解決

○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例示にある「姿勢」を基準とする解答をしていない ・ 非現実的な分け方をしていない（例示にあるような「地球人・火星人・金星人」など） ・ いくつに分けるかと、具体的な分け方に論理的整合性がある ・ 客観的に判断できる（分ける人によって基準が変わるものは不可） <p>※ 2つ、3つ、4つ、各カテゴリーそれぞれで採点。</p>
×	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記を1つでも満たしていない ・ 分類できていない（明らかに構成員が0となるものがある分類は不可） ・ 分類の項目がかぶっている <p>例) 2つ：20歳未満と20歳以上、3つ：20歳未満と20歳以上30歳未満、30歳以上など。 この場合は、「2つ」の方を○、「3つ」の方を×とする。</p>
解答例	<p>3つ：楽器の種類「弦楽器、管楽器（吹奏楽器）、打楽器」 4つ：楽器の種類「弦楽器、管楽器（吹奏楽器）、打楽器、鍵盤楽器」 ※ピアノは打楽器、鍵盤楽器どちらでも許容 ※管楽器は木管楽器、金管楽器と分けていても許容</p> <p>3つ：服装 「ズボン、スカート、それ以外」 2つ：服装 「ズボン、スカート」 ※ワンピースやその他、などが無いと本来分け切れてはいないが、ミーシーでなくても明らかな要素が抜け落ちていなければ許容</p> <p>4つ：血液型「A型、B型、AB型、O型」 ※構成員が0になる可能性はあるが、明らかになれば分類できるので可</p> <p>3つ：一番好きな食べ物「肉、魚、野菜」 ※分類対象者の主観によって分類できるものは可（分ける人によって分類が変わらないので）</p>
不可例	<p>2つ：服装 「服を着ている、着ていない」 ※10：0のため。明らかに構成員が0となるので分類できていない</p> <p>2つ：服装 「スカート、ワンピース」 ※服の形態で上記のように分ける場合、「ズボン」が抜けているのは明らかに要素が抜けているため、不可</p> <p>2つ：服装 「動きやすい、動きにくい」、身長「高い、低い」、髪「長い、短い」など ※人によって異なる指標なので、客観的に判断できないため不可</p> <p>4つ：服装 「ズボン、ボーダー、スカート、それ以外」 ※服の形態と服のガラという異なる観点のため、分類できていない</p> <p>誕生日 「1月、2月、3月、4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月」 ※5つ以上に分類されているので不可 ※誕生した季節「春、夏、秋、冬」なら可</p>

次の【資料】を読み、(1)・(2)の問いに答えなさい。

【資料】

いくつかの候補の中から好きなものを選ぶ機会が与えられたとき、人はそれらの候補に順位をつけていることが多い。そのような中で集団として一つのものを選ぶ場合、どのような決め方をするか、その決め方についてあらかじめ確認しておかないと、決め方によって選ばれるものが異なってしまうことがあります。

アキ子さんの学級ではクラスのレクリエーションで何をやるかを話し合っていました。候補は、バレーボール、ドッジボール、バスケットボールの3種目です。この3種目について、やりたいと思う順に順位づけするアンケートを事前に取りました。それを集計した結果が、下の表です。

1位	2位	3位	人数
ドッジボール	バレーボール	バスケットボール	9
バレーボール	バスケットボール	ドッジボール	9
バスケットボール	バレーボール	ドッジボール	8
ドッジボール	バスケットボール	バレーボール	6
バスケットボール	ドッジボール	バレーボール	5
バレーボール	ドッジボール	バスケットボール	3

- (1) 各個人の順位づけについては変化しないものとして、下の方法 A~C のような決め方をしたときにはそれぞれ何が選ばれるでしょうか。次の1~3 (1. ドッジボール 2. バレーボール 3. バスケットボール) の中から1つずつ選び、記号で答えなさい。

方法 A: もっともやりたいと思うもの1つに手を挙げる多数決

方法 B: やりたいと思うもの2つに手を挙げ、もっとも挙手が多かったものに決める多数決

方法 C: もっともやりたいと思うもの1つに手を挙げ、その中で最下位だった種目を除いて、残りの2種目についてどちらの方がよいか再度手を挙げ、そこでもっとも挙手が多かったものに決める多数決

- (2) あなただったらどの方法がよいと思いますか。方法 A~C の中から1つ選び○をつけ、その理由を説明しなさい。

【出題意図】

問題を解決し結論を出していくための手段には多くの方法や考え方があることを把握させることを狙いとした問題。ここでは「多数決」を取り上げ、(1)で、やり方によって結論が変わってしまうことを把握させ、(2)では、その中から一つを取り上げ、その「よさ」を明確に説明できるかどうかを問うことで、論理的な思考に基づく問題解決と意思決定の力が身についているかどうかを確認する出題形式とした。

【問題類型】

- (1) 解決手段の把握と選択
- (2) 解決手段の把握と選択

【正解】

- (1) (方法A) 1 (ドッジボール)
(方法B) 2 (バレーボール)
(方法C) 3 (バスケットボール)
- (2) 次ページ参照

【評価基準】問題発見・解決力／問題解決

○	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ方法に対し、その理由の根拠がデータと整合的である ※選んだ理由とは考えられるが、論理的に破たんしているものは不可
×	<ul style="list-style-type: none"> ・理由の根拠がデータから読み取ることができない、あるいは、データと整合的でない
解答例	<p>【方法A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番単純／シンプルで楽 ・一番時間がかからない ・「最もやりたい競技をやる人」の人数が最も多くなるから <p>【方法B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一番やりたくない競技をやる人」の人数が最も少なくなるから <p>【方法C】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2段階のステップを踏むことで、自分の意見が反映されなかったとしても納得度が上がるから
不可例	<p>【方法A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「最もやりたい競技をやる人」が積極的に行うことで全体の雰囲気活性化になるから ※Aに特化した内容でなく、Aを選ぶ理由になっていないため× ・一番公平／公正な方法だから ※なぜこの方法だとそうなのかの理由がないため× <p>【方法B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の票数が増えるため、多数決としての信ぴょう性があがるから ※信ぴょう性はあがらないため× ・一番公平／公正な方法だから ※なぜこの方法だとそうなのかの理由がないため× <p>【方法C】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2段階のステップを踏むことで、意見を反映しやすくなるため ※「より多くの人の」意見を反映できる、なら○だが、これだけではCの理由になっていない ・一度は全員の意見を採用できているから ※Cの方法でも「全員の」意見は反映できていないため× ・一番公平／公正な方法だから ※なぜこの方法だとそうなのかの理由がないため×

問題例 12 記述式 人間関係形成力のもととなる認識 /
⑤他者理解 ⑥多様な他者との協力的問題解決

次の文章を読み、(1)～(4)の問いに答えなさい。

他者に対する私たちの「反応」には、次の4種類があります。

- ◆非主張：自分の思いや考えをおさえこみ、まったく表に出さない。
- ◆攻撃：相手のことは考えずに、自分の思いや考えを相手に押し付ける。
- ◆間接的攻撃：相手に直接言うのではなく、思いや考えを態度やしぐさで表現する。
- ◆主張：相手のことを考えながら、自分の思いや考えを表現する。

上記を意識しながら以下の文章を読んでください。

東京に向かう新幹線の混雑した車内。自由席の3人がけ座席の窓際に50代女性A、中央に20代女性B、通路側に40代男性が座っている。名古屋で通路側の男性が降り、窓際の女性Aと中央の女性Bが残され、そのまま女性Aと女性Bは同じ席に座り続けた。次の駅は新横浜。名古屋から1時間以上かかる。新横浜から新たにお客さんが乗ってくる可能性は低い。

新幹線を東京駅で降りたあと、女性Aが友人Cと話しています。

女性A「まったく、気が利かないんだから。本当に腹がたつわ。こちらは窮屈な思いをしているのに、あの若い女は何考えているのかしら。名古屋で通路側の男の人が降りたんだからねえ。わかるでしょ？ まったく今の若い人は……」

友人C「あなた、その若い女に、どういうふうにしたの？」

女性A「何も言わないわよ。へたに言うと、今の若い人って怖いじゃない？ だから、さんざんにらみつけてやったわ。それなのに、涼しい顔をしているの。ああ、腹がたつ」

一方、新幹線を東京駅で降りたあと、女性Bが友人Dと話しています。

女性B「ああ、怖かった。新幹線でとなりの女性が、何が気に入らないのか、やたらとにらむのよ。まったく、どうしようかと思ったわ」

友人D「席を移ればいいじゃない？ ああ、混んでいて移れなかったのか」

女性B「3人がけの中央で窮屈だったから、最初からそうしたかったのよ。ちょうど名古屋で通路側の人も降りたしね。でも、あんなににらんでいるのに、へたに移動したら、言いがかりをつけられそうだったから、動けなかったわ」



- (1) 女性Aは女性Bに何をしてほしかったのですか。
- (2) 女性Bはどうしたかったのですか。
- (3) 女性Aが女性Bに対して、「攻撃」の反応をしていたとしたら、どのようなセリフを言っていたと思いますか。
- (4) 女性Aが女性Bに対して、お互いに気持ちよく、望ましい結果を得るために「主張」の反応をしたら、どのようなセリフを言えばよいですか。
- 次の【依頼の話型】に従って、(ア)～(ウ)にあてはまるセリフをそれぞれ書きなさい。

【依頼の話型】

(ア) 感情の理由を示しながら、感情を表現する

+

(イ) 具体的に頼む

+

(ウ) 頼みをきいてくれると、どのようなよいことがあるかを示す

【出題意図】

問題解決に当たって、他者の思いや考えを考慮したうえで、論理的な思考に基づいて解決策を検討したり、その妥当性を評価したり、複数の解決策を統合したりする力があるかどうかを確認するための問題。人物の行動や反応などから、その背景にある考えや感情を推測することができるかを問うたり、その考えや感情を踏まえた現実的な解決策を考え得るかどうかを問う出題とした。

【問題類型】

- (1) 他者理解／登場人物の思考を推測する
- (2) 他者理解／登場人物の思考を推測する
- (3) 多様な他者との協働的問題解決／他者を考慮する
- (4) 多様な他者との協働的問題解決／他者を考慮する

(1) 【評価基準】人間関係形成力のもととなる認識／他者理解

○	<ul style="list-style-type: none"> ・通路側の席に移ってほしかったという内容を書いている ※言い回しは広く許容
×	<ul style="list-style-type: none"> ・上記以外の内容を書いている
解答例	<ul style="list-style-type: none"> ・通路側の席に移ってほしかった。 ・名古屋で空いた席に移ってほしかった ・男性が座っていた席に座ってほしかった。
不可例	<ul style="list-style-type: none"> ・席を移りたかった ※主体が変わっているので不可 ・席を移ってほしいです ※セリフになっているので不可

(2) 【評価基準】人間関係形成力のもととなる認識／他者理解

○	<ul style="list-style-type: none"> ・通路側の席に移りたかったという内容を書いている ※言い回しは広く許容
×	<ul style="list-style-type: none"> ・上記以外の内容を書いている
解答例	<ul style="list-style-type: none"> ・通路側の席に移りたかった ・名古屋で空いた席に移りたかった ・男性が座っていた席に移りたかった
不可例	<ul style="list-style-type: none"> ・席を移ってほしかった ※主体が変わっているので不可

(3) 【評価基準】人間関係形成力のもととなる認識／協働的問題解決

○	<ul style="list-style-type: none"> ・攻撃の種類にそった解答をしている。
×	<ul style="list-style-type: none"> ・攻撃の種類になっていない。 ・移動してくれますか？など、相手の意向をうかがう・相手に配慮した、主張の種類になっている。
解答例	<ul style="list-style-type: none"> ・通路側の席に移動しなさいよ。まったく気が利かないんだから！ ・少しくらい気を利かせなさいよ！！ ※席の移動については触れていないが、感情を攻撃的に発しているので許容
不可例	<ul style="list-style-type: none"> ・席を移ってもらえませんか？ ・席が空いたので移ってください。窮屈です。 ・とても窮屈なので席隣に移ってもらえないかしら。 ※言い方によって攻撃的か主張か判断がわかるものは不可（言葉に出したときのニュアンスではなく、文章として表現できているかで判断）

(4) 【評価基準】人間関係形成力のもととなる認識／協働的問題解決

○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 依頼するための主張の話型にそった解答をしている。 ・ (ア) (イ) (ウ) すべてを満たしている。
×	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記のいずれかを満たしていない。
解答例	<p>(ア) 隣り合って座っていると窮屈よねえ。</p> <p>(イ) よければ隣の席に移動してくれませんか。</p> <p>(ウ) そうすればお互いゆったりできるわよね。</p>
不可例	<p>(ア) 席が狭くて窮屈だわ</p> <p>(イ) 移動してよ</p> <p>(ウ) その方が楽でしょお互い</p> <p>※相手のことを考えた伝え方になっていないため不可</p> <p>※命令や攻撃的な表現でなければ許容</p>

問題例 13 記述式 人間関係形成力のもととなる認識 /
⑦対人関係におけるコントロール方略

次の【場面】を読み、問いに答えなさい。

【場面】

客 「すみません、追加でパンケーキふたつください」

店員 「10時半でオーダーストップです」

客 「え、そんなの聞いてないよ」

店員 「メニューの裏面をごらんください」

客 「ちょっと、そういう態度ってないんじゃない？」

問い 「客」は怒っているようです。「店員」がこの場でどのような対応をしていれば、「客」は怒らずにすみましたか。



【出題意図】

今後のグローバル社会においては、異質な他者・異文化としての他者といかに適切にコミュニケーションできるかどうか重要な力の一つとなる。そのような他者とのコミュニケーションにおいては、理性的かつ論理的に、その時の状況や相手に合わせた伝え方・手法を選択し実行することが必要となるが、その力の有無を確認する問題として出題した。

【問題類型】

他者への対応

【評価基準】人間関係形成力のもととなる認識／対人コントロール方略

○	<ul style="list-style-type: none"> ・「客」の要望に応えられないことに対する謝罪の意図が表れている ※言語的、非言語的どちらで示していてもよい ※どう対応するかの方針が述べられていればよい、ただし現実的でないものは不可
×	<ul style="list-style-type: none"> ・「客」の要望に応えられないことに対する謝罪の意図が表れていない ・「この場」での対応ではないもの
解答例	<ul style="list-style-type: none"> ・オーダーストップの時間を伝えていなかったことを謝り、メニューの裏に書いてあることを丁寧に説明する ・「客」の要望をかなえられないことに対して謝る ・申し訳なさそうに話をする
不可例	<ul style="list-style-type: none"> ・ラストオーダーの10時半にオーダーストップであることを伝えに来るべきだった ・注文時に言うべきだった／来店時に言うべきだった ・申し訳ございません（これだけでは何について謝っているか不明のため不可）

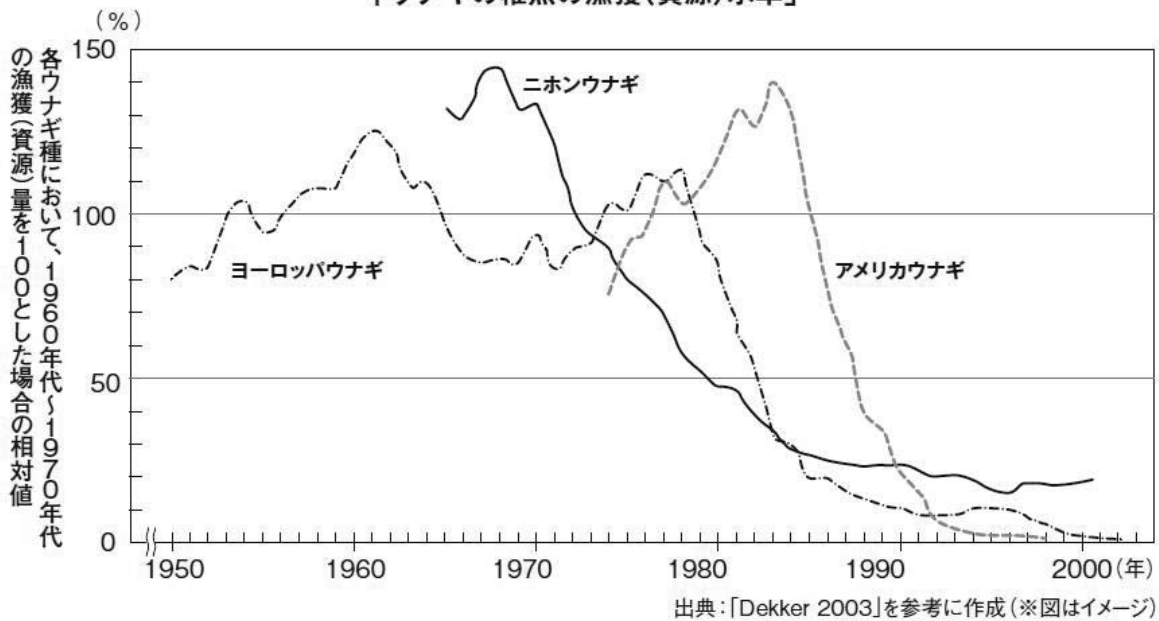
問題例 14 論述式 論理的思考力・批判的思考力 / ②論理的な表現力
社会参画力のもととなる認識 / ⑧地球規模の視野と社会への参画意識

次の会話文を読み、後の問いに答えなさい。



- 母 「今日は土用の丑の日だから、夕食はウナギにしましょう」
- 子 「どうして土用の丑の日だと、ウナギを食べるの？」
- 店主 「おや、ぼうや、知らないのかい？ 土用の丑の日にウナギを食べるのは、江戸時代から続く日本の伝統なんだ」
- 母 「じゃあ、せっかくだから、いただくわ。ところで、これ国産かしら？」
- 店主 「もちろん！ 静岡は浜名湖産の最高級ウナギですよ」
- 子 「国産ということは、ニホンウナギなの？」
- 店主 「おう、ぼうや、よく知っているね。もちろんニホンウナギさあ」
- 子 「だったら買っちゃダメだよ。お母さん。このあいだ学校で習ったんだけど、ニホンウナギは絶滅しかけているんだよ。絶滅危惧種というのに指定されたんだ」
- 店主 「おいおい、ぼうや。商売のじゃまをしないでくれ。絶滅危惧種に指定されたのは本当だけれど、売り買いが禁止されたわけじゃないんだ」
- 子 「でも、こうやってみんなが売り買いするから、絶滅しちゃうんでしょ？ 絶滅しそうな動物は、とっちゃダメ、売っちゃダメ、買っちゃダメなんだ。おじさんだって、ニホンウナギを絶滅させたくはないでしょ？」
- 店主 「そりゃあ、ウナギに絶滅されたら、商売あがったりだな。でも、おじさんだって、こうやってウナギを売らなきゃ、生きていけないんだよ」
- 母 「そうよ、ウナギ職人さんにウナギを売るなんて、無責任なことを言ってはいけないわ。それに、いまさら私たちが食べるのをガマンしたくらいでは、何も変わらないでしょ。こんなに売っているのに、誰も買わなかったら、かえってもったいないじゃない。それこそ、エコじゃないわ」

「ウナギの稚魚の漁獲(資源)水準」



子 「お母さんの考えかたのほうが、無責任だと思うけれどなあ。だいたい、ほかに魚はいくらでもいるんだから、わざわざウナギを食べる必要はないでしょ？ ねえ、おじさん。ウナギはやめて、ほかの魚を売ったらどう？」

店主 「ぼうや。いいかい？ 勝手なことを言うなよ。おじさんたちウナギ職人はウナギー筋なんだ。昔から『串打ち3年、割き5年、焼き一生。たれ代々』と言って、人生をかけて修行してきたんだ。日本の伝統的な食文化を守っているという、誇りをもってやってきたんだ。それを、なんだい。ウナギを売るなって言われたら、ニホンウナギが絶滅する前に、おじさんたちが絶滅しちゃうよ」

母 「もうしわけありません。うちの子が失礼なこと言って。あとで言って聞かせますから。それに、ここのウナギは養殖でしょう？ 養殖ならば構わないんじゃないかしら」

子 「お母さんは何も知らないんだなあ。養殖といっても、天然の稚魚をとってきて、それを育てているだけなんだ。天然のウナギと、あまり変わらないよ」

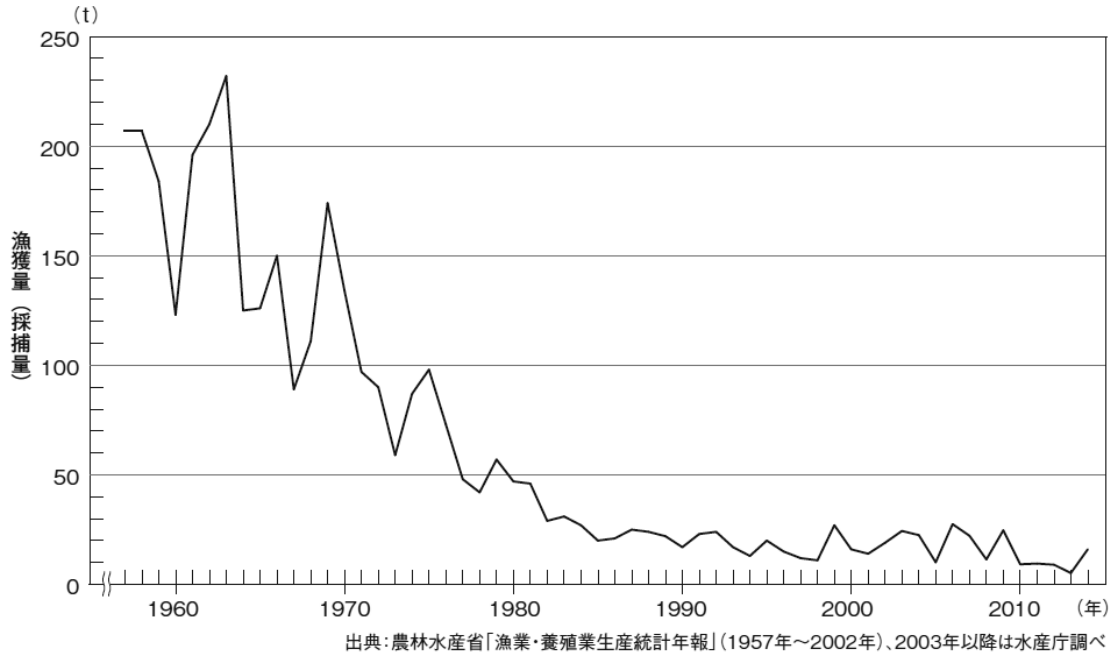
店主 「むむ……完全養殖も2020年頃には実用化するらしいけどなあ……」

母 「あら、ぜんぜん知らなかったわ。やっぱり東京オリンピックくらいまでは、ウナギはガマンしたほうがいいのかしら」

店主 「いやいや、奥さん、ウナギを見捨てないでくださいよ。世界にはニホンウナギ以外にもウナギはいますからね。20～30年前はヨーロッパウナギやアメリカウナギの稚魚を外国で養殖したものを、大量に輸入していたこともありました。最近では、東南アジアのビカーラ種の稚魚を、ニホンウナギの代わりに育てようという話もあるんです」

子 「日本のウナギが減びそうだから、外国のウナギを食べましようというのは、ずいぶん自分勝手なような気がするけどなあ」

「ニホンウナギ稚魚の国内漁獲量(採捕量)の推移」



店主 「でも、東南アジアの漁師さんたちは、ウナギが日本人に高く売れるので喜んでいるんだよ。なにしろ日本人は、世界のウナギの7割を食べているからね。日本人がたくさん買って、たくさん食べれば、東南アジアの人たちももうかる。景気もよくなる。国際親善にも役立つ。いいことだらけじゃないか。せっかく東南アジアの人たちが喜んでいるのに、日本の都合でやめたら、それはそれで自分勝手というもんだ」

母 「あら、日本人がたくさんウナギを食べていると言うけれど、うちはそんなに食べていないわ。ウナギは高いから、年に何回かの贅沢ぜいたくなのよね。それにしても、ここのは高いわねえ。やっぱりスーパーの輸入ウナギにしようかしら」

店主 「ちょっと、ちょっと、奥さん。言いたくはないけれど、奥さんのそういう考えかたが、ウナギを滅ぼしてきた部分もあるんですぜ。昔はウナギといえば、うちみたいなウナギ専門店で、たまに食べるのが普通だった。でも、奥さんたちが専門店で食べると高いと言うもんで、ニホンウナギでもヨーロッパウナギでも、世界中からかき集めて、スーパーやらコンビニやらで、安く大量に売り出したんだ。奥さんたちに見れば、安いのはいいことだよ。でも、売るほうにしてみれば、安くしたぶん、大量に売らないとやってられない。ものには適正な価格ってものがあるんだ。安く売るために、大量にとられてたんじゃ、ウナギだってやってられないだろうよ」

母 「庶民にとっては、安いほうがいいに決まってるじゃない。まあ、去年に比べれば今年は安いみたいだし、国産ウナギにするわ。絶滅する前に食べちゃわないとね」

店主 「そうそう、今年はニホンウナギの稚魚が大漁だから、去年より安いんだよね。去年は5トンしかとれなかったけれど、今年は15トン以上とれそうなんだ。絶滅危惧種なんてケチをつけられた今こそ、ウナギを食べてってくださいよ」

子 「あれ？ 絶滅しそうなのに大漁だなんて、ヘンだなあ」

- 問1 この会話によれば、ウナギが絶滅すると一番困るのは誰ですか。次の1～5の中から選びなさい。
1. 母
 2. 子供
 3. 店主
 4. 全員が同じくらい困る
 5. 誰も困らない
- 問2 「子」は「母」の考えを無責任と言っています。無責任ととらえられる「母」の言動を挙げ、なぜそれが無責任と言えるのかを書きなさい。
- 問3 「母」は「子」の考えを無責任と言い、「店主」は「子」の考えを勝手と言っています。無責任あるいは勝手ととらえられる「子」の言動を挙げ、なぜそれが無責任あるいは勝手と言えるのかを書きなさい。
- 問4 ニホンウナギに絶滅の可能性があるにもかかわらず、今までどおりにウナギを売り続けるという「店主」の主張は、当然の権利の主張だと思いますか。それとも身勝手な主張だと思いますか。その理由もあわせて書きなさい。
- 問5 「私はウナギが好きでもないし、食べることもない。だから、ニホンウナギが絶滅するかどうかなんて、私には関係のないことだ。私はまちがっていますか？」と言っている人がいたとします。その人に対して、あなただったら、どのように答えますか。あなたの立場を明確にしなが、どのように答えるかを書きなさい。
- 問6 本文で話題になっていることについて、このテストを受ける前から知っていましたか。知っていた場合、いつ、どのような形で知ったのか、そのときどのような点に注目したのかを書きなさい。
(※「知っていた」あるいは「知らなかった」という事実そのものは加点あるいは減点の対象にはなりません)
- 問7 このテストの内容を通して、あなたは何を考えましたか。あなたの考えを書きなさい。
- 問8 このテストの内容を通して、あなたがさらに知りたいと思ったことはありますか。ある場合には、知りたい内容とその理由を書きなさい。

【出題意図】

地球規模の時事的な問題を題材とし、論理的な思考に基づく表現の力と、社会への参画意識の強さを確認するための問題として出題。前半の(2)～(4)では、3人の登場人物にスポットを当て、それぞれの意見や態度の裏に潜んでいる思考・思想を適確に把握できるかどうかを、後半の(5)～(8)では、広い視野と社会への参画意識を持てているかどうかを確認した。

【問題類型】

- (1) 資料読解
- (2) 適切な理由づけ
- (3) 適切な理由づけ
- (4) 適切な理由づけ／視野の広さ
- (5) 視野の広さ
- (6) 視野の広さ
- (7) 参画意識
- (8) 参画意識

※(4)は2つの観点で評価

【正解】

- (1) 3
- (2)～(8) 次ページ以降参照

問2【評価基準】論理的・批判的思考力／論理的な表現力

<p>基準</p>	<p>根拠（どのようなところ）—説明（どのように）—主張（無責任） 母が無責任であることにつき、 ①文中から根拠となる母の言動を挙げている ②母の言動が、なぜ無責任といえるのかを説明している</p>
<p>2点</p>	<p>②を満たしている ※②がきちんと書けていれば①は明記されていなくても可</p>
<p>1点</p>	<p>①は満たしているが②を満たしていない</p>
<p>0点</p>	<p>①も②も満たしていない</p>
<p>正答の要件</p>	<p>①の要件 ・母は個人の行為はニホンウナギの絶滅に影響を与えないと考えている ・ウナギの薄利多売化を好ましいことと考えている ・母はニホンウナギが絶滅するなら、その前に食べてしまおうと考えている ②の要件 ・ニホンウナギが種として絶滅することに興味関心がない ・みんなが母と同じように考えたら、ニホンウナギを絶滅に追い込む状況は変わらない（自分たちだけではなく、“みんなが、社会全体が”という部分に触れている） ・ウナギが絶滅する前に食べてしまおうというのは、自分さえよければよい、今さえよければよいという発想であり、基本的に自己中心的である ・未来の世代に対して無責任 ※①、②の要件はそれぞれの中でどれかを満たしていればOK</p>
<p>①解答例</p>	<p>「いまさら私たちが食べるのをガマンしたくらいでは、何も変わらないでしょ」 「絶滅する前に食べちゃわないとね」 「（こんなに売っているのに）誰も買わなかったら、かえってもったいないじゃない（それこそエコじゃないわ）」 上記の文の抜粋、あるいは言い換えが書けていれば、①は可</p>
<p>②解答例</p>	<p>「ウナギの絶滅に関し、自分には責任がなく、他人事のように考えているから」 「自分たちだけがよければいい、という考えで、未来に対しての責任感がないから」 「ウナギの絶滅を防ぐ努力をしようとしていないから」 正答の要件を満たす内容であれば言い回しは問いません ※不可例 ・母はウナギを買おうとしたから：母の言動や行動を述べているだけで説明していない ・「●●」という母の言動は無責任だから：母の言動や行動がなぜ無責任なのかの説明になっていない</p>

問3 【評価基準】論理的・批判的思考力／論理的な表現力

<p>基準</p>	<p>根拠（どのようなところ）—説明（どのように）—主張（無責任／勝手） 子が無責任、あるいは勝手であることにつき、 ①文中から根拠となる子の言動を挙げている ②子の言動が、なぜ無責任、あるいは勝手といえるのかを説明している</p>
<p>2点</p>	<p>②を満たしている ※②がきちんと書けていれば①は明記されていなくても可</p>
<p>1点</p>	<p>①は満たしているが②を満たしていない</p>
<p>0点</p>	<p>①も②も満たしていない</p>
<p>正答の要件</p>	<p>①の要件 ・ウナギを商って生活している人たちに対する配慮がない ・伝統的な食文化に対する配慮がない ②の要件 ・種の保護のため、人間の生活を犠牲にするような発想は無責任であり、勝手である ・文化の継承に対する軽視（店主の誇り、プライド、考え、気持ち等）</p>
<p>①解答例</p>	<p>「絶滅しそうな動物は、とっちゃダメ／売っちゃダメ／買っちゃダメなんだ」 「ウナギはやめて／ほかの魚を売ったらどう？」 「ウナギを食べる必要はない」 上記の文の抜粋、あるいは言い換えが書けていれば、①は可 「ウナギは絶滅しかけている」という事実のみの言及は不可</p>
<p>②解答例</p>	<p>「ウナギで生計を立てている店主の都合／仕事／商い／行動を無視している（または配慮していない）から」 「ウナギが絶滅するからという観点だけで考えているから」 「正論（自分の考え）を押しつけているだけで、他の立場の人（ウナギに関わる人）のことを考えていないから」 ※正答の要件を満たす内容であれば言い回しは問わない</p>

問4【評価基準】論理的・批判的思考力／論理的な表現力 ※(4)は2つの観点で評価

基準	<p>「当然の権利の主張」あるいは「身勝手」の立場に対して</p> <p>①文中から根拠を挙げて、それらの根拠から、なぜ「当然の権利の主張」あるいは「身勝手な主張」といえるのかを説明している</p> <p>②採用しなかった立場について理解、あるいは譲歩している</p> <p>※採用しなかった立場への理解は、少しでも書いてあればよいです</p>
2点	<p>①②両方を満たしている</p> <p>※両論書いていても可。②を拡大して書いていると解釈する</p>
1点	<p>①は満たしているが、②を満たしていない</p>
0点	<p>①を満たしていない</p>
正答の要件	<p>①の要件</p> <p>■当然の権利の主張（人間中心主義／功利主義的立場）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売買は禁止されていない ・ウナギを売らなければ生活が成り立たない ・伝統的な食文化を守っている <p>■身勝手な主張（義務論的立場）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禁止されていないからといって、何をしてもいいわけではない ・それが生業であろうと、伝統的な食文化であろうと、人間の都合でニホンウナギという種を滅ぼすべきではない ・絶滅のおそれがある以上、ウナギ職人も何らかの対策をすべき <p>②の要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採用しなかった立場について理解、あるいは譲歩していることを述べている
①解答例	<p>■当然</p> <p>「ウナギが絶滅するかもしれないとはいえ、売買を禁止されたわけではないから」</p> <p>「店主はウナギを生業としているため、ウナギを売らなければ生活が成り立たないから」</p> <p>「店主は伝統的な食文化を守っており、適正価格で売買できれば絶滅の危機はないはず」</p> <p>■身勝手</p> <p>「売買は禁止されていなくても、このままでは絶滅する危険があるのだから売るべきではない」</p> <p>「ウナギの絶滅により、他の生物や生態系全体にも影響が出る恐れがあるから」</p>
②解答例	<p>■当然</p> <p>「ウナギが絶滅するかもしれないとはいえ、～～」</p> <p>「ウナギを大量にとりすぎることは問題ではあるが、～～」</p> <p>■身勝手</p> <p>「生活がかかっている店主にとっては大きな問題ではあるが～～」</p> <p>「ウナギの乱獲に直接店主が関わっているわけではないが～～」</p> <p>※正答の要件を満たす内容であれば言い回しは問わない</p>

問4【評価基準】社会参画力／地球規模の視野と社会への参画意識 ※（4）は2つの観点で評価

基準	<p><当然の主張> ※2の要素がなく3の具体策のみ書かれているものは1になる</p> <p>0 ウナギの絶滅に触れていない</p> <p>1 ウナギの絶滅には触れている (人間中心的な考えのみ)</p> <p>2 ウナギの絶滅の重要性を理解している (人間中心でない重要性／ウナギ視点)</p> <p>3 2+ウナギの保全に触れている (完全養殖・バランスをとる・ウナギ店が自ら数を制限するなど、保全のアイデアを出している)</p> <p><身勝手></p> <p>0 ウナギの絶滅に触れていない</p> <p>1 ウナギの絶滅には触れている (人間中心的な考えのみ)</p> <p>2 ウナギの絶滅の重要性を理解している (人間中心でない重要性／ウナギ視点)</p> <p>3 2+社会システムや業界の姿勢まで言及している</p>
-----------	---

問5【評価基準】社会参画力／地球規模の視野と社会への参画意識

基準	<p>0 無関心／人ごととしてとらえる (関係ないとする) 立場を容認</p> <p>1 ウナギに関係ある人の問題／人間中心的な視点 (経済や文化) で考えている</p> <p>2 ウナギに関係ある人だけでなく、人として、社会として関心を持つべき問題／かつ、人間中心でない視点 (ウナギの生存についてウナギ視点で考慮) しているが、ウナギの絶滅に関してだけの問題という視点で考えている</p> <p>3 ウナギに関係ある人だけでなく、人として、社会として関心を持つべき問題／かつ、人間中心でない視点 (ウナギの生存について考慮) /かつ、ウナギに限定せず、生態系全体や地球規模まで視野を広げて考えている</p>
0 解答例	<p>・あなたは間違っていない</p> <p>・ウナギが嫌いなら、あなたには関係のない話です</p> <p>※最終的な結論として、「無関心でいてよい／あなたには関係ない」としているものは「0」</p> <p>「あなたには関係ないかもしれないが～」という記述があっても、最終的な結論として「無関心でいてはいけない」という内容であれば、「1」～「3」のどれかとして採点</p>
1 解答例	<p>【ウナギに関係ある人だけの問題】</p> <p>・ウナギで生計を立てている人がいるのだから無関心でいてはいけない</p> <p>【人間中心的な視点のみ】</p> <p>・漁業が衰退すれば、経済全体にダメージを与えるのであなたにも影響がある</p> <p>・古くから伝わる文化の1つなのだから、無関心でいてはいけない</p> <p>※ウナギに限定しない視野で述べていても、あくまで人間中心的な考えの場合は、「1」</p> <p>【ウナギの絶滅には触れているが、ウナギの絶滅が重要であることに触れていない】</p> <p>・あなたは間違っています。ウナギは絶滅の危機に瀕しています</p>
2 解答例	<p>・1種の動物が絶滅しそうなのに何も考えないのは無責任</p> <p>・1種の動物が絶滅しそうだとすることを軽視してはいけない</p>
3 解答例	<p>・ウナギが絶滅するということは、ウナギだけでなく生態系全体へも影響し、自然そのものにも影響を与える可能性がある。自分が食べないからといって関係ないとしてよい問題ではない</p> <p>・人間のせいで絶滅しそうな生き物がいること自体が問題である</p>

問6 ※評価外 回答傾向の分析に使用

基準	<p>0 「何も知らなかった」</p> <p>1 ウナギの減少や絶滅とは関係ない内容／値段の高騰など、人間中心主義的内容</p> <p>2 ウナギの減少や絶滅についての内容</p> <p>3 地球規模の視野で、別問題へも視野を広げた内容</p> <p>9 その他（未回答／上記と関係のない記述）</p> <p>※事実の正誤は問わない</p> <p>※併記の場合は基準が高く出る方を優先</p>
----	--

問7 【評価基準】社会参画力／地球規模の視野と社会への参画意識

基準	<p>0 考えたことはない／本文とは関係のない内容／本文の記述と関係あるものでも、表記やファクトについての記述のみ</p> <p>1 本文と関係のある内容（ウナギの値段／人間関係／様々な立場など）だがウナギの減少や絶滅の重要性とは関係のない内容／持続可能性への責任感が欠けている内容</p> <p>2 問題解決をめざして、主体的に向き合っている／大きな枠組みとして何とかしなくてはいけないという意思があるが、ウナギの絶滅に関してだけの問題という視点</p> <p>3 （ウナギの問題から）地球規模の別問題へも視野を広げて考えた内容</p>
0 解答例	<ul style="list-style-type: none"> ・ウナギはおいしい ・好き嫌いをなくそうと思った ・命に感謝 ・ウナギの表記がひらがなとカタカナで統一されていないと思った。
1 解答例	<p>【本文と関係はあるが、ウナギの減少や絶滅の重要性とは関係のない内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物それぞれに主張があって、物事を多面的に見るのは大事だと思った <p>【持続可能性への責任感の欠如】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物が絶滅することはいつか必ず起こるのだから、絶滅して当然・仕方ない
2 解答例	<ul style="list-style-type: none"> ・ウナギの完全養殖ができれば、ウナギを絶滅から守れると思った ・「知らなかった」ではすまされない。各人がそう言っていたら、ウナギは絶滅する ・この問題に関して、政府がどのような対策をとっているのか
3 解答例	<ul style="list-style-type: none"> ・このような国内外で起こっている問題について、「なんとなく知っている」という態度を改め、興味や関心を持って自ら知識を増やし、考えていく必要がある ・このような問題はウナギに限らず起きている。人間が自然に対してどこまで介入していいのか、そのレベルを考えていくべき ・（ウナギに限らず）絶滅危惧種をとり続けるのはよくない <p>※「このような問題」は、ウナギの問題を元にそれ以外への転移をしている→「3」</p> <p>「この問題」は、ウナギの話のみと判断→「2」</p>

問8 【評価基準】社会参画力／地球規模の視野と社会への参画意識

<p>基準</p>	<p>0 知りたいことはない／白紙</p> <p>1 ウナギの減少や絶滅とは関係ない内容／値段の高騰など、人間中心主義的内容</p> <p>2 ウナギの減少や絶滅についての内容</p> <p>3 ウナギ以外の問題に触れつつ（地球規模の視野）、人間中心主義以外の問題へも視野を広げた内容</p>
<p>0 解答例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特にない
<p>1 解答例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ウナギをどうしたら安く手に入れられるか ・全ての食材の命に感謝しなくてはいけない ・日本人がウナギを食し景気がよくなることが本当に「国際親善」になるのかどうか ・他にも経済に関わりのある問題があるのか知りたい
<p>2 解答例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・（ウナギが）絶滅しかけている理由（本当に乱獲の影響なのか環境変化なのかなど） ・（ウナギが）絶滅しかけているのになぜ多くの稚魚をとってしまうのか ・（ウナギの）絶滅を防ぐ方法（完全養殖、政府の対策など）
<p>3 解答例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・（ウナギの）絶滅が生態系にどう影響するのか ・ウナギ以外にも絶滅しかけている生物がいるかどうか（経済等人間中心的記述がない） ・このような問題の解決策にはどのようなものがあるのか

昨年度の反省を踏まえて

- ・ どの問題も、与えられた情報を条件に従って操作するだけで解けてしまう。
⇒記述問題の導入
- ・ 人間関係形成力や社会参画力を問う問題が少ない。

記述問題

- ①分類
10人の人物の具体的な分類基準を5種類考える。
- ②真因の追究
「なぜ」を5回繰り返すことで真因をつきとめる、具体的な事例を考える。
- ③論理の誤謬
論理的におかしなところを指摘する。

人間関係形成力を問う問題の追加

①敬語 (多肢選択)

参考：文化庁「敬語おもしろ相談室」

②非主張・攻撃・間接攻撃・主張 ＋話型の適用など (多肢選択＋記述)

論述問題

昨年度のテーマ：A進路決定＋B共有地のジレンマ

今年度のテーマ：ニホンウナギ（絶滅危惧種）

- ・問題の定義と分析
- ・立場（生産者・消費者・環境保護）の理解
- ・無関心への対処
- ・何を知っていたか・何を知ったか・何を知るべきか

成果と課題

- ・ 記述問題の導入により、多様な問題づくりが可能になった。しかし、効率的でブレのない採点手法の確立が課題。
- ・ 論述について、現実に行っている問題を扱うほうが、受検者の興味・関心を引きやすく、社会への参画意識やグローバルな視点についても問やすい。その分野の専門家による監修が必要。

全体としての意図

実社会・実生活の場面で、事象を数理的にとらえて
判断する力を評価する

特に焦点を当てるのは――

- ・論理的思考力・批判的思考力
- ・問題発見力・解決力

評価問題に取り組む生徒に新たな学びがあるような
文脈を工夫する

論理的思考力・批判的思考力

- ・数学的に定式化された問題の解決とその根拠の
的確な説明(表現)
- ・情報の取り出し
 - 問題場面の要素間の関係の解釈
 - データからのトレンドの把握

問題発見力・解決力

- ・複数の情報の比較による主要因の特定
- ・状況の多面的な考察による潜在的要因の特定
- ・問題場面での基本的な方法の獲得と新規な場面での適用

次年度に向けて

- ・今年度は, 問題開発の基本的視点を確認
- ・評価問題の精緻化(数学的リテラシー問題, 社会的問題へのアプローチの評価の強化)
- ・評価結果のフィードバックの方法と, 評価結果を活かした学習プログラムの開発

=====

<MEMO>

=====